

令和5年度 事業報告

令和5年度は、新型コロナが感染症法上の「5類」に位置付けられたことから、人流や経済活動の回復が見られた一方で、物価高騰の影響が長期化しており、当公社の経営においてもその影響を受ける状況となりました。

このような経営環境の変化に対応するため、4カ年計画の後半を迎える中期経営計画「プラン2024」（計画期間：令和3年度から令和6年度）の中間見直しを実施しました。

改訂した経営計画に基づく事業収入の拡大や経費節減に向けた取り組みにより、コスト上昇の影響を受けつつも景気の回復基調を取り込むことができ、当公社の経営状況はコロナ以前を超える水準へと回復した令和4年度を更に上回ることであります。

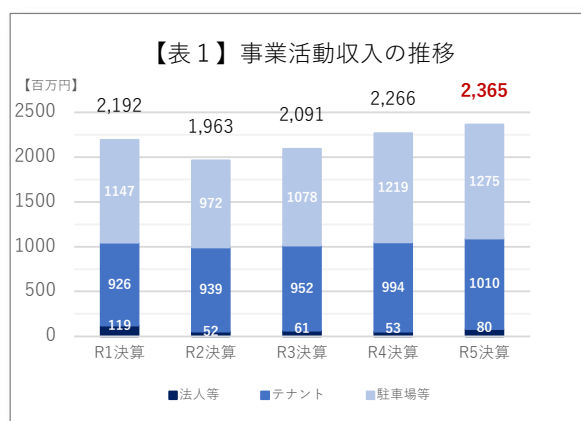
■ 財務概況 ■

人流や経済活動の回復傾向を受け、令和5年度の事業活動に係る当公社の収入金額は、令和4年度比で4.4%増の約23億6,500万円となりました。【表1】

駐車場等事業会計にあっては、自動車駐車場がコロナ前を上回る順調な回復が続く一方で、自転車駐車場の回復は鈍化傾向にあり、依然としてコロナ前の水準に戻らない状況です。

テナント事業会計にあっては、令和4年度にJACK大宮において大型テナントの退去があったものの、新規テナントの誘致により満床となり、堅調に推移しております。

また法人会計にあっては、ビル管理者事業の受託経費の見直しにより、増収となりました。



【参考】当公社の事業会計の区分

主な事業会計	該当する事業等
駐車場等事業会計	● 駐車場事業（自主事業・指定管理者事業） ● 駐輪場事業（自主事業・指定管理者事業） ● さいたま新都心バスターミナル管理事業 他
テナント事業会計	● JACK大宮事業 ● JS日進事業
法人会計	● ビル管理者業務受託事業 *ビル管理者事業会計は別会計となります ● 法人管理 他

■ 各事業の取組状況 ■

1 駐車場事業

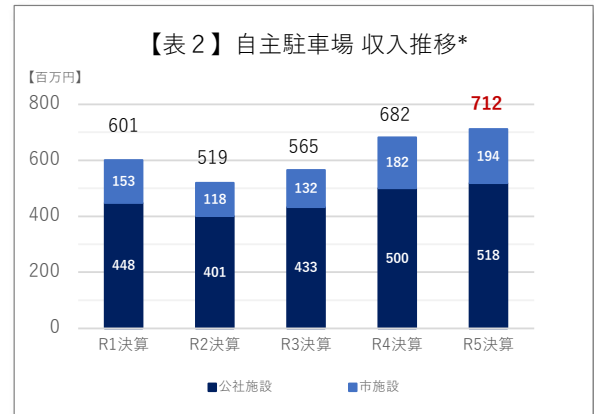
駐車場事業にあっては、新型コロナの5類移行による人流増加と駐車料金の適正化の効果もあり、令和4年度に引き続きコロナ禍前を上回る順調な回復が続いております。

(1) 自主駐車場事業

令和4年度から取り組む駐車料金適正化に伴う料金改定の効果と、浦和駅西口南高砂地区再開発事業の着工による周辺事業所等の定期需要の取り込み等もあり、令和4年度比で4.4%増の7億1,200万円となりました。【表2】

一方で、現場スタッフ人件費や修繕工事の施工単価が上昇していますが、スタッフ配置の適正化や計画的な改修による平準化等に取り組みました。

また運営効率化の一環として、令和6年3月をもって今羽町自動車駐車場（定期専用：収容39台）の運営を大宮今羽町団地管理組合に移管しました。



*浦和パーキングセンター駐輪場を含む。雑収入を除く。

(2) 指定管理者駐車場事業 [桜木駐車場]

さいたま市の指定管理者（平成31年4月から令和6年3月までの5年間）の最終年度として、市営桜木駐車場について管理運営を実施しました。

当施設は令和5年度をもって閉鎖することとなっていたため、さいたま市と協力し、利用者に向けた周知活動等を実施しました。

2 駐輪場事業

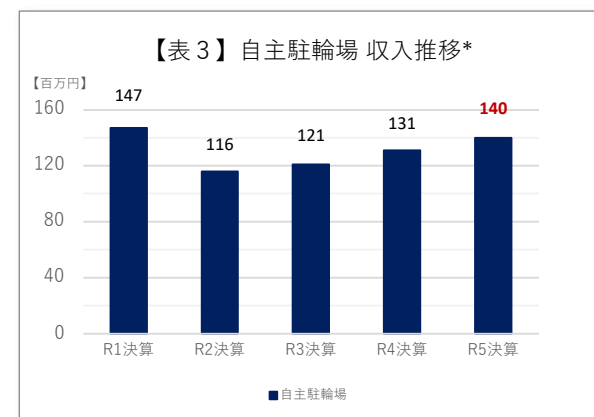
駐輪場事業にあっては、コロナ禍の影響が薄れてきていますが利用の回復が鈍く、人件費等の管理コストが年々増加傾向にあることから、収入は回復しつつあるものの収益は依然として厳しい状況が続いています。

(1) 自主駐輪場事業

コロナ禍以降、リモートワーク等の新たな生活様式の影響もあり、需要の中心である通勤通学利用の回復が依然として鈍く、令和4年度比で6.9%増の約1億4,000万円となり、令和元年度の95%程度に留まっております。【表3】

令和5年度は、需要が高い大栄橋西臨時駐輪場について、一時利用の機械式個別ロックを増設し、利用者の利便性向上と収益改善を図りました。

また物価高騰により、将来の借地料や設備投資の負担増が見込まれる西大宮駅南口・北口駐輪場については、令和6年3月をもって民間事業者に移管し、運営の効率化を進めました。



*浦和パーキングセンター駐輪場を除く。雑収入を除く。

(2) 指定管理者駐輪場事業 [Bグループ]

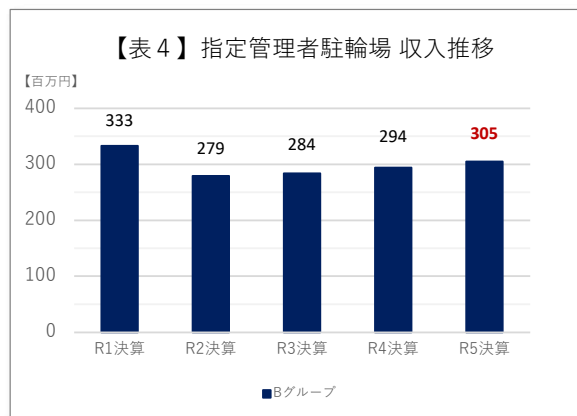
さいたま市の指定管理者（平成31年4月から令和6年3月までの5年間）の最終年度として、Bグループ8カ所の市営駐輪場の管理運営を実施しました。

自主駐輪場と同様に利用の回復が鈍く、令和4年度比で3.7%増の約3億500万円となり、令和元年度の92%程度に留まっております。

【表4】

施設の改善にあつては、安全のための停止線の施工や導線案内矢印等の路面標示の施工、各駐輪場への防犯カラーボールの配置等、利用者の利便性向上や安心安全確保の施策を実施しました。

また令和5年度は、次期（令和6年度から5年間）市営駐輪場の指定管理者募集に応募し、Bグループ（大宮区の8施設）について、引き続き管理者に指定されました。



3 さいたま新都心バスターミナル管理事業

令和5年度は、さいたま市より引き続き施設管理業務を受託し、バスの発着業務の対応や施設の良好な維持保全、併設のバス及び一般車の時間貸し駐車場の適切な管理運営を実施しました。

当施設は「さいたまクリテリウム・サイクルフェスタ(11月)」や「さいたまマーチ(3月)」等のイベント会場として活用され、イベント開催に伴う乗入バス事業者への情報提供や臨時対応等の側面支援を実施しました。

4 テナント事業

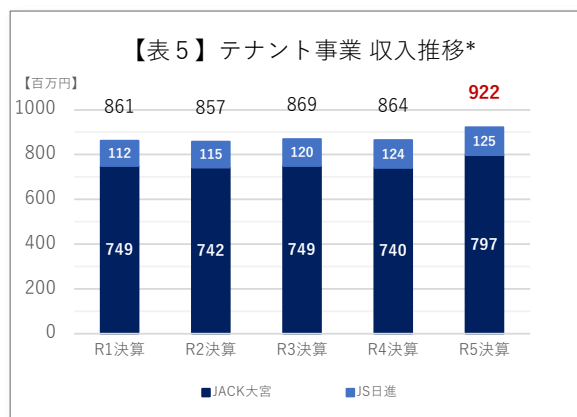
JACK大宮にクリニックが入居したことで空室が解消され、JACK大宮・JS日進ともに満床となりました。

これによりテナント事業収入は、令和4年度比で6.7%増の約9億2,200万円となり、大幅な増収となりました。【表5】

安心安全な建物環境の維持のため、引き続き感染症防止対策の一環として、共用部の抗菌処理を実施しました。

また環境への配慮とビル省エネの一環として、JS日進共用部照明のLED化工事を実施しました。

その他、令和5年度から施設の持つ魅力を積極的に発信する取り組みとして、JACK大宮屋上からの映像をさいたま市の広報番組に提供する等のPR活動を開始しました。



*賃貸収入及び共益費収入の合計を示す。

5 ビル管理者事業

ビル管理者事業は、区分所有建物「JACK大宮」、「シーノ大宮パーキング」、「シーノ大宮センタープラザ」の共用部の管理を行う事業です。

各事業ともに円滑な運営管理を行うため、設備管理、保安警備、清掃、設備修繕等を適正に実施しました。

令和5年度は、主な工事としてJACK大宮1階エントランス改修工事を実施しました。

また職員人件費等の事務経費の増加を反映し、ビル管理者事業の受託経費を改定しました。



■ その他事業の取組状況 ■

1 まちづくり事業

(1) 大宮駅周辺地域駐車場ルール

大宮駅周辺における駐車施設の配置適正化に向けた「大宮駅周辺地域都市再生駐車施設配置計画（駐車場ルール）」が策定され、令和6年5月から施行されます。

当会社が駐車場ルールの運用組織に指定されたことから、さいたま市と協力し、運用体制の構築に向けた準備を進めました。

(2) 大宮駅周辺グリーンインフラ公民連携プラットフォーム（GIAP）

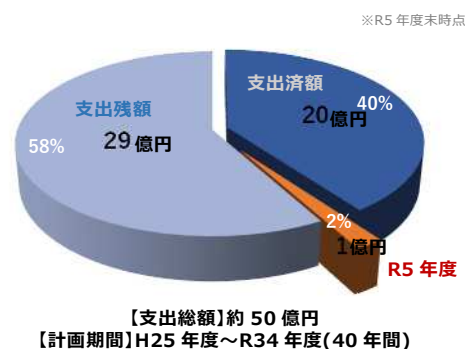
リーディングプロジェクトである「大宮ストリートプランツ(8～11月)」の運営にあつては、企画の詳細検討や道路占用許可申請に向けた調整等に携わりました。

さらに令和5年度は、大宮駅西口グリーンコミュニティ部会の構成員としてキックオフイベントを開催する等、西口における本格的な活動を開始し、都市の価値向上と活性化や豊かな生活空間の形成に取り組みました。

2 公益目的支出計画に基づく特定寄附金支出

一般財団法人の責務として、公益目的支出計画に基づき公共・公益事業への利用を目的にさいたま市へ11回目の特定寄附（1億円）を実施しました。【表6】

【表6】公益目的支出計画 履行状況



■ 中期経営計画『プラン2024』の中間見直し ■

令和5年度は、4カ年計画である中期経営計画『プラン2024』が3年目を迎えたことで、中間見直しを実施しました。

見直しにあたっては、過去2カ年の実施状況を踏まえ、変化する外部環境に適切に対応するため、既存の36の取り組みについて総点検したうえで、再生可能エネルギー活用や施設の魅力発信等の新たな課題への対応を盛り込み、改訂版としてまとめました。

■ 組織・人事管理等の取組状況 ■

1 人材の育成

人材の育成については、全職員を対象としたコンプライアンス研修や新任管理職を対象とした管理職研修について外部研修機関が開催する研修会に参加しました。

また、職員が自発的に業務に関連する資格を取得するなど職員個々の業務スキルの向上を図りました。

2 DX化の推進

DX化の推進については、令和5年度はJ S日進に勤怠管理システムを導入し、業務効率化を図りました。なお、令和6年度に各直営駐輪場等についても勤怠管理システムを導入し更なる業務効率化を図ってまいります。

また、社会保険・雇用保険の届出について、GビズID（複数の行政サービスにログインできる共通認証システム）を取得し、電子申請に対応しました。

■ 環境・地域社会貢献活動の取組状況 ■

1 環境・地域社会貢献活動

（1）さいたまロードサポート活動

令和3年度より開始した、JACK大宮周辺歩道を対象とした清掃や緑地の維持を行う「さいたまロードサポート活動」を継続して実施しました。

活動状況は公社ホームページやSNS「ピリカ」を活用し広く情報発信を行いました。



さいたまロードサポート活動の様子

（2）TEAM大宮（大宮駅周辺地区活性化会議）

大宮駅周辺の事業所で構成される「TEAM大宮」に参加し、地域事業者との協働による地域活性化活動に取り組んでおります。

令和5年度は、定例となった大宮駅周辺の清掃活動（年4回）に参加し、近隣の事業者と連携して環境美化に取り組みました。

（3）その他の活動

① グリーンカーテン

さいたま市が推進するSDGsへの取り組みに賛同し、大栄橋西臨時駐輪場、桜木駐車場、さいたま新都心バスターミナルへゴーヤの「グリーンカーテン」を設置しました。

② 鉄道ふれあいフェア

「鉄道ふれあいフェア（11月）」が開催され、JACK大宮会場として南側広場に新幹線エア遊具を設置し、多くのお子様楽しんでいただきました。



鉄道ふれあいフェアの様子

③ クリスマスイルミネーション

年末年始の賑わい創出企画として 12 月から 1 月にかけて、JACK大宮南側広場に「クリスマスイルミネーション」を展示しました。



④ さいたま市消防音楽隊によるミニコンサート

さいたま市消防局の協力により、4年振りにさいたま市消防音楽隊ミニコンサート(7月・12月)を、JACK大宮1階エントランスで開催しました。

2 交通安全・防犯啓発活動

大宮区が年6回(奇数月の26日)実施する、自転車の盗難防止を呼び掛ける「ツーロックキャンペーン」に会社が管理する駐輪場を活動場所として提供し、さいたま市や警察署と連携して啓発活動を実施しました。

